

中心市街地区画整理事業終結へ！

決算委で担当課長が答弁

18日開催された9月沼田市議会決算審査特別委員会で、中心市街地区画整理事業に関連し、「当初計画された事業完了のH22年度が目前に迫っても、事業が10%程度しか進まず、25年度まで計画の見直しが行われているが、完成まであと何年かかるかわからない。再度の計画見直し（延長）はあるのか」という井之川博幸議員の質疑に、細野街なか対策課長が「太田市の例などを見ると、（国の）補助事業としての期間は平成23年度で終わるので見直しが必要だが、事業終結の方向での延長申請になると思う」という趣旨の答弁を行いました。



区画整理が進んだ下之町8街区西側

本市の中心市街地区画整理事業は、本町通りを中心に平成10年から22年度完成をめざして事業が始まりましたが、当初から関係住民の「同意書」をとらずに、市と有力者の合意で「市施工」としてどんどん進めてきました。畑などの区画整理でも90%以上の「事前同意」がなければ事業着手は難しいといわれているのに、先行買収などで老舗商店をはじめ住民を追い出し、活性化とは反対に空き地とシャッター店を増やすなど、強引に事業を進めてきましたが、住民の合意がなかなか得られず、最初の「換地合意」まで7年を要するなど大幅に遅れていました。

この間社会情勢は大きく変化し、市が建設予定の「にぎわいの核」などの大幅変更もあり、店主の高齢化なども影響していますが、国の公共事業見直し方針の対象になるようです。日本共産党市議団は、計画当初から住民合意が最も大切で、事前の「同意書」もとらずに強引に事業を始めることには「反対」し、事業が始まってからも住民と市民の同意がない事業として、一貫して反対を貫いてきました。また、中心市街地の活性化は、本町通りだけでなく、城下町の町割りなど歴史を活かした「街づくり」が必要などと、区画整理に頼らないまちづくりを推進するよう求めてきました。



区画整理が進んだ8街区東側

都市計画道路見直しを求める

井之川博幸議員は、決算審査において、昭和50年代に計画された都市計画道路は、時代の変化に合わなくなっているため、縮小の方向で見直すよう求めました。

北回り環状線は完成し供用されていますが、南回りは用地買収の関係で大幅に計画が遅れ、交通量の予想で当初4車線で計画され、今もその計画に沿って工事が進められています。しかし、人口や経済が減少していく状況を考えて、「2車線で十分なのではないか」と提起し、見直すよう求めています。

文化の秋！各地で文化行事

第47回赤旗囲碁将棋大会 利根沼田囲碁大会開催される

23日(祝)、沼田中央公民館において第47回赤旗囲碁将棋大会利根沼田囲碁大会が開催され、利根沼田各地から15人が参加しました。結果は下記の通りです。名人戦3位までが10月25日に行われる県大会に参加できます。



○名人戦

- 1位 見城 弘殷氏(材木町)
- 2位 村沢 紘氏(桜町)
- 3位 比嘉 定三氏(みなかみ町)

○一般戦

- 1位 原沢 良男氏(栄町)
- 2位 梅沢 銀一氏(東原)
- 3位 星野 格氏(西原)

第37回 岳美会秀作展開催

9月19日から23日まで、市中央公民館で「岳美会秀作展」が開催され、24作品が展示されました。



2009年9月27日 No.491

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料